

平 30 医療政策第 428 号  
平成 30 年(2018 年) 9 月 7 日

各医療機関の長 様

山口県健康福祉部医療政策課長

地域医療構想を踏まえた「医療機関 2025 プラン」策定について (依頼)

平素から保健医療行政の推進についてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 28 年 7 月に策定した地域医療構想の実現に向け、地域医療構想調整会議において、構想区域ごとにその具体化に向けた検討を進めており、現在、公的医療機関等について、平成 37 年に向けた具体的な対応方針を協議しているところですが、全ての医療機関について、平成 37 年に向けた事業計画を策定した上で、当該事業計画を地域医療構想調整会議に提示し、平成 30 年度末までに対応方針を協議することとしております。

については、下記により「医療機関 2025 プラン」を策定し、ご提出くださいますようお願いいたします。

なお、策定した「医療機関 2025 プラン」については、地域医療構想調整会議第 2 回検討部会 (11 月～12 月開催予定) での協議を予定しています。

#### 記

- 1 対象医療機関 平成 30 年度病床機能報告対象医療機関 (公立病院及び公的医療機関等を除く)
- 2 提出書類 別紙「医療機関 2025 プラン」  
※ 下記 URL に掲載の様式をダウンロードの上、電子媒体により作成、提出してください。  
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/all1700/tiikiiryousokoso/iryoukikan2025.html>
- 3 提出先 山口県健康福祉部医療政策課医療企画班 山中  
E-mail : [yamanaka.shigeo@pref.yamaguchi.lg.jp](mailto:yamanaka.shigeo@pref.yamaguchi.lg.jp)  
※ 担当 E-mail アドレスあて、電子メールでの送信をお願いします。
- 4 提出期限 平成 30 年 10 月 12 日 (金)

医療企画班 担当 : 山中、池永  
TEL : 083-933-2924  
FAX : 083-933-2829  
E-mail : [yamanaka.shigeo@pref.yamaguchi.lg.jp](mailto:yamanaka.shigeo@pref.yamaguchi.lg.jp)

(別添)

# 〇〇病院・診療所 医療機関2025プラン

平成30年 〇月 策定

## 【基本情報】

医療機関名	
開設主体	
所在地	
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	
診療科目	
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	

作成 担当者	(所属)	連絡先	(電 話)
	(氏名)		(メー ル)

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

② 自施設の課題

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

② 今後持つべき病床機能

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

現在、将来の病床数欄は、平成30年度病床機能報告予定数値を記入

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期			
休棟等			
(合計)			
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

# 〇〇病院 医療機関2025プラン

平成30年 〇月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人〇〇会 〇〇病院
開設主体	医療法人〇〇会
所在地	山口市〇〇〇〇
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	60床 一般病床 40床、療養病床 20床 急性期 20床、回復期 20床、慢性期20床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	60床 一般病床 40床、療養病床 20床 急性期 20床、回復期 20床、慢性期20床
診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、外科、整形外科、皮膚科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	70名 5名 50名 10名 5名

作成 担当者	(所属) 〇〇課	連絡先	(電話) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	(氏名) 〇〇 〇〇		(メール) 〇〇〇@〇〇〇〇.co.jp

## 【1. 現状と課題】

### ① 自施設の現状

※診療実績等を記入

届出入院基本料 一般病棟〇対1入院基本料、〇〇管理料

平均在院日数 〇〇. 〇日、 病床稼働率 〇〇. 〇%

特徴 4機能のうち〇〇が中心 等

### ② 自施設の課題

※地域の課題（将来の医療需要の減少、地域で不足している機能等）を踏まえた、自施設の持つ課題を記入

- ・ 地域の医療需要の減少が見込まれること、近隣の〇〇病院との機能の一部重複があることから、現状の体制を維持すべきか否か、検討が必要
- ・ 地域で不足している、急性期医療を受けた後の患者の受け皿となる医療機関の整備に向けて、当院の役割の再検討が必要

## 【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

### ① 地域において今後担うべき役割

- ・ 〇〇病院のみでは対応しきれない、脳卒中及び心血管疾患への対応を中心とした急性期医療の提供体制は維持していく
- ・ 地域における回復期機能の一翼を担う

### ② 今後持つべき病床機能

- ・ 現在の急性期病棟は一定程度維持する必要があるが、規模の適正化を検討する
- ・ 回復期機能を提供する病棟の整備について検討する

### ③ その他見直すべき点

- ・ 医療機関全体として、病床利用率が低下傾向であり、今後の医療需要の推移を加味して、最適な病床規模について検討する

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

現在、将来の病床数欄は、平成 30 年度病床機能報告予定数値を記入

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	20		10
回復期	20		30
慢性期	20		0
休棟等			
(合計)	60		40
介護保険施設へ移行予定	—		20
うち、介護医療院	—		20

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
2019	急性期病床10床を回復期病床に転換	地域で不足する回復期機能を充足
2020	慢性期病床20床を介護医療院に転換	地域で過剰な慢性期病床の削減

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

- ・ 近隣の〇〇病院と重複があるため、△△科を廃止
- ・ 構想区域内に提供施設がないため、□□科を新設。□□科については、隣接区域の〇〇病院と提携し、人員を確保

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

- ・ 医療提供に関する項目 (病床稼働率、手術室稼働率、紹介率、逆紹介率)
- ・ 経営に関する項目 (人件費率、医業収益に占める人材育成にかかる費用の割合)
- ・ その他 (地域医療介護総合確保基金の活用予定 等)

【4. その他】(自由記載)

